

令和6年度第1回勝間公民館運営審議会 議事録

- ・開催日時 令和6年6月5日(水) 午前10時～11時30分
- ・開催場所 勝間公民館 学習室
- ・出席者 國澤委員長 藤本副委員長 由川委員 藤井委員 中谷委員 野村委員
阿部委員
【公民館】森原館長 加藤社会教育指導員 白井主事補
【欠席者】藤山委員

◇議事◇

館長から始めの挨拶

- 1 今回は、委員の任期更新後初めての会議であるから、委任状の交付と委員の自己紹介をお願いしたい。また、防府市公民館運営審議会運営規則第5条第1項により、委員長及び副委員長は委員の互選により決めるとあるので、諮りたい。
 - 委員長は國澤社会福祉協議会会長、副委員長は藤本明るい勝間づくり推進協議会会長に決定。委員長、副委員長あいさつ。
 - この会は、情報公開条例に基づき、議事録を公開することを了承いただきたい。
 - 公民館運営審議会運営規則第7条の議事手続きより、委員の過半数の参加により、会の成立宣言。
 - 公民館運営審議会運営規則第5条第3項の規定により、会議の議長を委員長に願う。

2 協議

(1) 令和5年度公民館事業報告について(資料P1～P6)

○公民館事業実施報告(館長)

- ・9つの事業を実施。コロナ禍明けで、久しぶりに地区と合同文化祭を開催し、盛況であった。また、地区の文化講演会を明るい勝間づくり推進協議会と共催で実施、第30回目の節目の講演会となった。

○勝間公民館貸館利用状況、市内各公民館貸館利用統計表について(白井主事補)

- ・過去6年間の勝間公民館貸館利用状況を見ると、R2・3年のコロナ禍による減少はあったが、R4年度からは、利用状況が戻りつつある。
- ・市内各公民館別貸館利用状況から、勝間公民館は市内で2番目に有料貸館利用が多い。

○事業収支決算書、市民教養講座決算書、サークル協力金決算書について(館長)

- ・それぞれについて、決算について報告・説明した。
- ・令和5年度は、新型コロナの影響がはっきりしない部分があったので、予算の執行をとどめたところがあったが、繰越金として次年度に執行したい。

○会計監査として、前公民館運営委員で監査をお願いしていた秋本委員が来られているので、会計監査報告をしていただいた。

→ 議決：出席者全員賛成。

(2) 令和6年度公民館事業実施計画及び予算案について(資料P7～P15)

○事業方針、事業実施計画について（館長）

- ・本年度、変更したところは、下線で提示してある。公民館に人が集い、繋がりが生まれるように、誰もが気軽に立ち寄れる公民館を目指したい。
- ・今年度は、明るい勝間づくり推進協議会と共催していた文化講演会を中止した。

○学級・教室年間学習実施計画について（加藤社会教育指導員）

- ・3つの学級・教室の年間学習計画は、公民館が提示するのではなく、各学級・教室の運営委員が昨年度のアンケート結果等を考慮して、自分たちで協議して、決定している。これは、他館とは違って、勝間公民館の特徴といえる。勝間公民館は、組織力がすごいと感じている。現在は、昨年と比べて、参加者が増加しているし、他地域からの参加者が口コミで増えてきている。
- ・今年度は、にじいろくらぶで、6月の土曜日に「勝間浦人太鼓」を企画したが、参加者は10名ということである。なかなか、一朝一夕には改善されないが、運営委員は頑張っておられる。また、当日は、勝間小の校長先生が家庭教育学級の様子と同時に子どもたちの様子を見られるということで、更なる参加者を期待している。

Q：マイクロバスを使う回数が、学級・教室によって異なっているが、なぜか？

A：先ほど、説明したように運営委員によって、学習計画が決定する（車を必要とする学習計画であるか）し、にじいろくらぶのように、最初から自分の車で現地まで行くという方針のところもあるので、不公平にはなっていない。

Q：勝間公民館では、登録者人数や参加者人数が増加しているのは、なぜか？社会見学では、マイクロバス以外での参加は、保険等については大丈夫か？

A：他地域等からの参加者は、勝間地区の参加者から評判を聞いて、参加したいと思われる人が何人かおられる。社会見学について、マイクロバス使用時の人数制限に関しては、勝間独自のルールを決定している。今回の高齢者教室の社会見学の配車計画等は、運営委員の努力によるものである。公民館行事に関する保険に関しては、該当するかはわからないが、運営委員には伝えてある。今後の課題ではある。

○市民教養講座開設講座、登録申請サークルについて（白井主事補）

- ・市民教養講座は、昨年度から2講座減で7講座。登録申請サークルは、昨年度より一減（廃止）、2増（新規）で18サークルとなった。

→ 議決：出席者全員賛成。

○事業実施予算（案）市民教養講座予算（案）サークル協力金（案）について（白井主事補）

- ・今年度は、コロナ対策について、一段落したので昨年度の繰り越し分の消化を図りたいと考える。現在、各市民教養講座、サークルの指導者・代表者を通じて、それぞれの講座・サークルで必要とするものを提出していただいている。

→ 議決：出席者全員賛成。

(3) その他

○「國府ふるさとネット」の活動について（P16・P17）

- ・キーワード・・・共通取組事項について

①「先生・大人が率先して取り組む」

②児童生徒が主体的に取り組む

③笑顔あふれる取り組み姿勢

- ・昨年度より、勝間小学校における挨拶運動の取組が変わった。(笑顔、主体性)
- ・國府中における教師の積極的な挨拶や声の大きさ、笑顔。

2 報告

○國府中学校から

- ・コロナを気にすることがなくなった今、生徒の活躍の場を与えて欲しい。
- ・勝間地区文化祭等への協力を惜しまない。

○勝間小学校から

- ・コミュニティスクールとして、地域の方々に助けていただいている。先日の運動会等への参観等、感謝したい。
- ・勝間小美術館（多目的ホールでの展示）では、先日、校長会の後、他の校長たちから、うらやましがられた。誇らしい取り組みである。

○食生活改善推進協議会から

- ・今年度は、コロナ禍以来、久しぶりに「夏休み親子調理教室」を開催したい。小学校へ参加者の募集依頼をお願いしに行きたい。

○明るい勝間づくり推進協議会から

- ・地区文化祭への協力依頼。新年会の開催予告

○地区自治会連合会より

- ・10月に開催予定の地区運動会は、今年度は、防災関係の協議を多く取り入れたいと思っている。全地区の自治会に参加してもらえるよう努力していきたい。

○地区社会福祉協議会より

- ・9月16日（月）に敬老会を開催する予定である。昨年度より、発展させて、開催を考えている。(小学校で弁当を食べることが可能か検討して欲しい。)

3 その他

- ・次回の開催予告：令和6年12月6日（金）10：00～

館長から終わりの挨拶

上記のとおり、令和6年度第1回勝間公民館運営審議会の報告をいたします。

令和6年6月5日

勝間公民館長 森原 清